

山陽小野田市下水道事業経営戦略ロードマップ

1. これまでの主な経営健全化の取組

下水道事業では、水道局との徴収一元化による収納率の向上、農業集落排水施設の一部の処理区を公共下水道事業への統合、ストックマネジメント計画による計画的な施設の更新等により、経営健全化に努めてきました。しかしながら、いまだ一般会計からの繰入金に依存せざるを得ない状況です。

2. 経費回収率向上に向けたロードマップ

経費回収率向上に向けたロードマップを、他の指標の目標値も併せて以下に示します。

項目 \ 年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
経費回収率目標値						100%					100%
流動比率目標値						44%					92%
経常収支比率目標値						100%					100%
企業債残高対事業規模比率目標値						600%					580%
経営目標の検証・見直し				○					○		
経営戦略（計画期間）	→										
経営戦略の改定				○					○		
使用料改定の検討						○					○

3. 経費回収率向上に向けた取組

経費回収率の維持・向上に向けて、施設計画の更新に合わせた管渠のストックマネジメント計画の策定や下水道事業の官民連携の検討など、より一層の経営健全化に取り組めます。

経費削減の取組として、2か所ある処理場の維持管理の民間委託を今後も継続するとともに、令和7年度より委託先を一本化して更なる経費削減を図る予定としています。

また、下水道使用料の改定については、経費回収率の維持や一般会計繰入金の削減などを考慮しながら、令和10年度をめどに改定の検証を行います。